

市有財産の状況

区分	土地	建物	主な施設
行政財産	公用財産	85,540㎡	庁舎、消防施設など
	公共用財産	3,732,737㎡	学校、図書館、公営住宅、公園など
普通財産	2,823,060㎡	17,460㎡	上記以外（山林など）
合計	6,641,337㎡	506,420㎡	

特別会計

市には、国民健康保険事業など5つの特別会計と2つの財産区会計があります。特別会計全体の基金残高は約21億円で、前年度と比べると約2億円増加しています。※マイナスは「▲」と表記

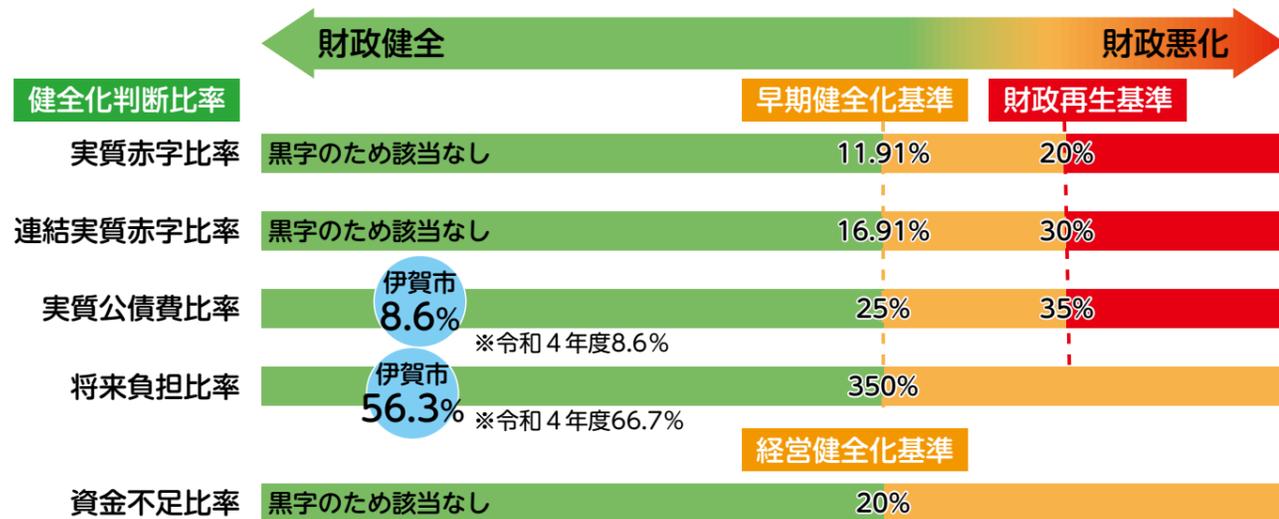
区分	会計名	歳入額	歳出額	差引額	基金
特別会計	国民健康保険事業	88億 1,332万円	88億 8,006万円	▲6,674万円	7,347万円
	駐車場事業	4,724万円	4,413万円	311万円	—
	介護保険事業	107億 4,597万円	103億 9,224万円	3億 5,373万円	15億 7,488万円
	サービスエリア	987万円	847万円	140万円	5,225万円
	後期高齢者医療	13億 8,736万円	13億 8,491万円	245万円	—
財産区	島ヶ原財産区	3,121万円	2,961万円	160万円	3億 67万円
	大山田財産区	1,789万円	1,655万円	134万円	1億 3,556万円
合計		210億 5,286万円	207億 5,597万円	2億 9,689万円	21億 3,683万円

財政の早期健全化・再生に関する指標 (財政健全化法に基づく指標)

健全化判断比率は、地方公共団体の赤字の大きさ(実質赤字比率、連結実質赤字比率)や借金返済額の大きさ(実質公債費比率)、将来に負担が見込まれる実質的な負債の大きさ(将来負担比率)を指標化したものです。

実質公債費比率については、昨年度数値を維持して

いますが、将来負担比率については、市債償還が進んだことなどにより昨年度を下回り、数値は改善しています。また、すべての指標において早期健全化基準・財政再生基準を下回っており、健全な財政状況を維持していると言えます。この基準を超えると、健全化に向けた対策が必要となります。



令和5年度 伊賀市の決算

【問い合わせ】 財政課
☎ 22-9608 FAX 24-2440
✉ zaisei@city.iga.lg.jp

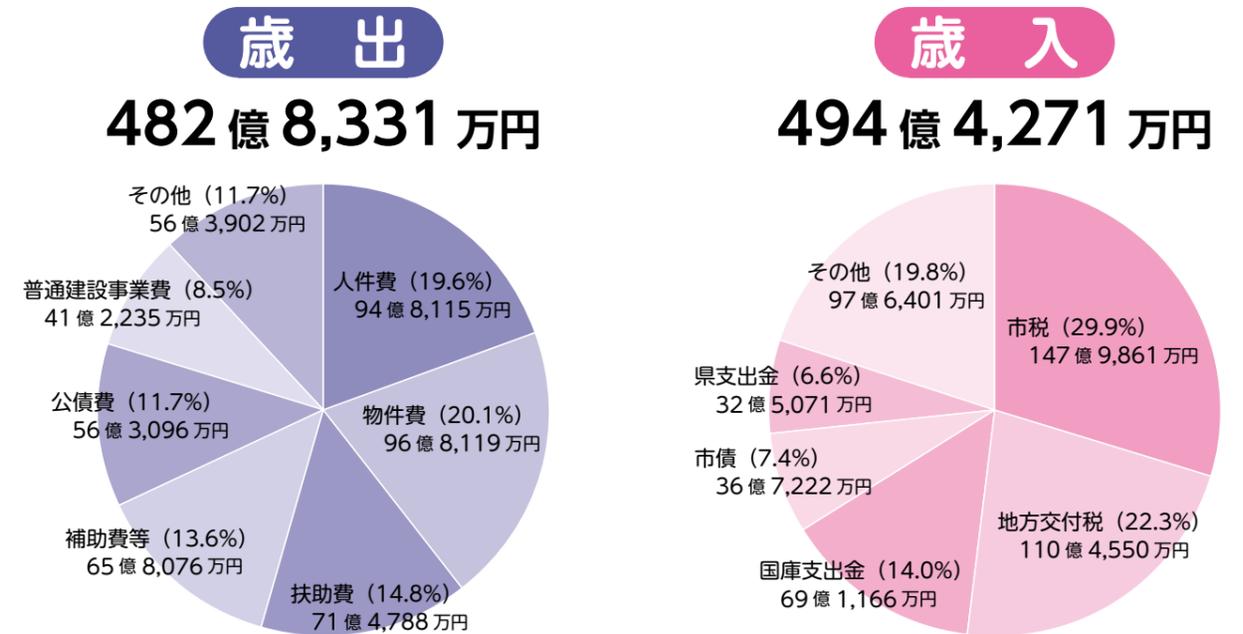


伊賀市議会9月定例会月会議で、令和5年度の一般会計・特別会計・企業会計の決算が認定されました。今回はその概要をお知らせします。※端数処理の関係で、決算書の数値と一致しない場合があります。

◆健全な財政運営に努めています

市の借金の減少や、当初の見込みよりも市税収入などが増加したことにより、令和5年度の実質収支は8億2,460万円の黒字になりました。これからも健全な財政運営*を行っていきます。

*基準となる指標は7ページに記載



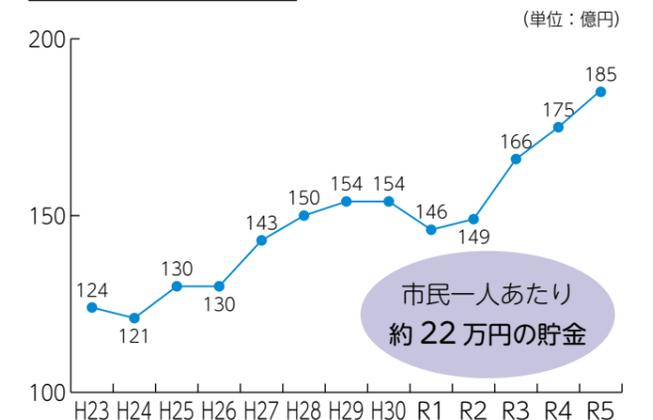
主な事業

給食センター管理運営経費	5億 5,825万円 (こども)	学校給食管理経費	1億 6,338万円 (こども)
新斎苑整備運営事業	11億 8,945万円 (くらし)	共同消防指令センター整備事業	6億 7,627万円 (くらし)
忍者市プロジェクト事業	2億 3,173万円 (にぎわい)	移住・交流推進事業	2,308万円 (にぎわい)

市債残高 (市の借金)



基金残高 (市の貯金)



国民健康保険・後期高齢者医療保険に加入の皆さんへ

12月2日以降 保険証の新規交付が終了します

【問い合わせ】

○ 保険年金課 保険年金係 ☎ 22-9659 FAX 26-0151 ✉ hoken@city.iga.lg.jp

医療助成係 ☎ 22-9660

○ (マイナンバーカードについて) 住民課 ☎ 41-2355 FAX 22-9643 ✉ juumin@city.iga.lg.jp

伊賀市
ホームページ厚生労働省
ホームページ

国の法改正により、令和6年12月2日以降、従来の保険証の新規交付が終了し、マイナ保険証（保険証利用登録がされたマイナンバーカード）の利用を基本とする仕組みに移行します。

お手元の保険証は有効期限まで使えます

法改正の経過措置により、令和6年12月2日以降も保険証に記載された有効期限まで利用できます。

マイナ保険証をご利用ください

交付済みの保険証の有効期限内であっても、オンライン資格確認を実施している医療機関などでは、マイナ保険証が利用できます。

【マイナ保険証を使うメリット】

○ 医療費を節約できる

従来の保険証よりも、自己負担分が6円節約(自己負担が3割の人の場合) できます。

○ より良い医療を受けることができる

医療機関や薬局が、過去の健康診断の結果や薬の情報を見られるようになるため、総合的な治療の診断や適切な薬の処方が受けられます。

○ 手続きなしで、高額医療の限度額を超える支払いが抑えられる

医療機関に限度額適用認定証などを提示しなくても、窓口での支払い(保険適用分)が自己負担限度額までとなります。(ただし、70歳以下で保険税の滞納のある人は適用されません。)

保険証の有効期限が切れた後について

○ マイナ保険証をお持ちでない人

➔ 「資格確認書」を提示してください。

お手元の保険証の有効期限を迎える前に、従来の保険証に代わるものとして「資格確認書」(申請不要)を送付します。保険証と同様に、医療機関などの窓口で提示することで、引き続き一定の窓口負担で受診できます。

○ マイナ保険証をお持ちの人

➔ マイナ保険証をご利用ください。

お手元の保険証の有効期限を迎える前に、ご自身の被保険者資格などを簡易に把握できる「資格情報のお知らせ」(申請不要)を送付します。「資格情報のお知らせ」には、被保険者資格などの基本情報が記載されます。※後期高齢者医療保険の加入者は、令和7年7月31日までの間は、マイナ保険証をお持ちの人へも「資格確認書」を送付します。

※「資格情報のお知らせ」だけでは医療機関などを受診することはできません。

※医療機関でカードリーダーが使えない場合(故障中など)…マイナ保険証で本人確認をした上で、資格情報を伝えることで受診できます。資格情報は「資格情報のお知らせ」やマイナポータルの「わたしの情報」/「医療保険の資格情報」を提示することで伝えることができます。

マイナ保険証の登録を希望する場合

○ マイナンバーカードをお持ちでない人

➔ マイナンバーカードの交付申請をしてください。

マイナンバーカードの申請方法は、ホームページをご覧ください。住民課までお問い合わせください。

○ マイナンバーカードをお持ちの人

➔ 利用登録をしてください。

マイナンバーカードを保険証として利用するためには、利用登録が必要です。登録方法は、ホームページをご覧ください。住民課までお問い合わせください。

伊賀市国民健康保険の加入・喪失手続きについて

伊賀市国民健康保険への加入手続きや、職場の健康保険への加入に伴う伊賀市国民健康保険の喪失手続きは、令和6年12月2日以降も必要です。マイナ保険証をお使いの場合も同様に手続きは必要です。

国民健康保険への加入には「資格喪失証明書」など喪失日の分かるもの、喪失には「資格確認書」または「資格情報のお知らせ」を持参してください。

水道事業

重要給水施設配水管事業や送水管・配水管の更新事業に取り組んだほか、設備機器の更新を実施し、安定して水道水を供給できる環境を整備しました。また、原油価格や物価高騰による経済的影響を軽減する支援策として、水道基本料金4カ月分の減免を行いました。

■水道事業の決算(消費税・地方消費税を含む。)

収益的収支	予算額	決算額	繰越額	差引	
水道事業収益	36億4,262万円	35億8,275万円	—	増減額	▲5,987万円
水道事業費用	31億8,096万円	29億9,891万円	2,847万円	不用額	1億5,358万円

資本的収支	予算額	決算額	繰越額	差引	
資本的収入	11億1,804万円	8億384万円	—	増減額	▲3億1,420万円
資本的支出	27億9,684万円	23億8,456万円	3億4,563万円	不用額	6,665万円

■市債残高 101億5,208万円

下水道事業

上野新都市浄化センターの耐震工事などのほか、中矢地区と上三ヶ区地区の農業集落排水処理施設を特定環境保全公共下水道島ヶ原処理区へ統廃合するための管路施設基本設計業務を行いました。農業集落排水事業では、西高倉地区汚水処理施設の機械電気設備の実施設設計を行い、昨年度に引き続き西高倉地区を含

■下水道事業の決算(消費税・地方消費税を含む。)

収益的収支	予算額	決算額	繰越額	差引	
下水道事業収益	25億5,198万円	25億7,944万円	—	増減額	2,746万円
下水道事業費用	23億4,920万円	21億7,325万円	572万円	不用額	1億7,023万円

資本的収支	予算額	決算額	繰越額	差引	
資本的収入	12億2,762万円	11億2,032万円	—	増減額	▲1億730万円
資本的支出	19億6,167万円	16億5,360万円	1億8,660万円	不用額	1億2,147万円

■市債残高 113億7,549万円

病院事業

西館用高圧ケーブル更新工事や電気室空調設備工事などの施設改修、据置型デジタル式汎用X線透視診断装置や心エコー室超音波診断装置などの医療機器を購入するなど、医療機能の充実に努めました。

経営状況は、新型コロナウイルス感染症関係の補助

■病院事業の決算(消費税・地方消費税を含む。)

収益的収支	予算額	決算額	繰越額	差引	
病院事業収益	52億3,657万円	49億7,782万円	—	増減額	▲2億5,875万円
病院事業費用	52億3,299万円	50億1,588万円	—	不用額	2億1,711万円

資本的収支	予算額	決算額	繰越額	差引	
資本的収入	6億9,400万円	3億9,894万円	—	増減額	▲2億9,506万円
資本的支出	8億5,078万円	5億4,791万円	8,131万円	不用額	2億2,156万円

■市債残高 14億1,081万円

問 上下水道部経営企画課 ☎ 24-0001 FAX 24-0006

経営状況は、計画的に管路更新や設備機器の更新を行い経費削減に努め、昨年度に引き続き利益を生じることができました。今後も安心・安全で良質な水道水を安定的かつ持続的に供給できるように努めます。

問 上下水道部経営企画課 ☎ 24-0001 FAX 24-0006

む13地区の中継ポンプ施設の水中ポンプ更新、処理場と中継ポンプ施設の通報装置更新に取り組んでいます。経営状況は、施設維持管理業務の効率化に努め、昨年度に引き続き利益を生じることができました。今後も下水道普及率の向上と公共用水域の水質保全に努めます。

問 上野総合市民病院病院総務課 ☎ 24-1111 FAX 24-1565

金が減額になったことや人件費、材料費などの高騰により、純損失を生じることとなりました。今後も医療サービスの向上と良質で高度な医療の提供、福祉の増進に努めるとともに、運営の効率化を図りながら、市民の負託に応えることができる病院をめざします。